

2 0 2 2 年 3 月 9 日

ロシア連邦大使館 気付

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 大統領 閣下

生活協同組合コープいしかわ

理事長 大谷 学

ウクライナへの武力行為の即時中止と軍を撤退させることを強く要請します

生活協同組合コープいしかわは、このたびのロシア軍によるウクライナ侵攻についてロシア政府に抗議し、武力行為の即時停止と軍の撤退を求めます。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、ウクライナの民間人の生命および安全に対する権利を深刻に侵害するものです。さらに、プーチン大統領が核兵器の使用も辞さないとし唆したことも報じられています。戦争のない平和な社会を希求する生活協同組合として、この現状に強い懸念を抱いています。

生活協同組合コープいしかわは、たがいに「たすけあい」「ささえあい」「つながりあい」「みとめあい」、安心して暮らせる社会をめざし、全国の生活協同組合とともに取り組みをすすめています。全ての人々が安心できる日常生活を1日も早く取り戻すためにも、人々の生命と平和な生活を奪う行為は即時停止し、国際社会の中で対話と外交による平和的解決に向け、最大限の努力することを強く望みます。

以上